

1月も新聞に多くの作文が掲載

新聞への作文の掲載は、1月も続いています。新聞に掲載されることを楽しみにしている子ども達もいます。1月に掲載された、5作品を紹介します。

香港の小学校と交流

6年 安慶名 碧

私達6年生は、修学旅行で沖縄を訪れた、香港の聖愛徳華天主教小学校との交流会を行いました。

香港の子ども達に日本の体育の授業を体験してもらうために、バスケットボールをしました。

初め、英語が伝わるのかな、仲良くなれるかな、不安でいっぱいでした。

しかし、香港の子と松田小の子との混合チームでプレーをしていくうち、アイコンタクトでパスができるようになり、互いにシュートまで持ち込むことができました。私のチームは、一勝一敗の結果でしたが、香港の子とも仲良くなれたので、とてもうれしかったです。

最後にプレゼント交換をしました。私達は沖縄のお菓子をあげました。香港の子ども達は、英語や中国語、そして日本語で書いた手紙や香港のおもちゃ、香港の写真等をプレゼントしてくれました。

これからも、文通したり、大人になったら、香港を訪ねたりできると、いいなと思いました。

(琉球新報 1月7日掲載)



HONG KONG

pinja.jp - 24896372

コーヒー おいしかった

1年 いなみね ゆうき

おかあさんが、くるまのなかにコーヒーをもってきていました。ほくは、こぼしたら、くるまがこわれないか、しんばいでした。

でも、おかあさんに、「コーヒーをのませて」というと「いいよ。」

といったので、のんでみました。すると、すこしあつかったです。あじは、にがかったけど、ちょっとおいしかったです。

もう一どのもうとすると、おかあさんが、「さっきのが、さいごだよ。」

といったので、ちょっとがっかりしました。おかあさんが、コーヒーをくるまのなかにもってきたら、また、のみたいです。

(沖縄タイムス 1月13日掲載)



はのみがきかた

1年 もろみ りいこ

今日、学校ではのブラッシングのしかたをはねじしかの人に教えてもらいました。

おはなしのなかで、子どものはは、にゅうしという名前で、二十本あるそうです。おとなのはは、えいきゅうしという名前で、二十八本から三十二本あるそうです。えいきゅうしは、たいせつにしないとたべものがたべられなくなります。

おはなしをきいたあと、はにばいきんがついていないか、はのばいきんをそめる赤いえきたいをくちのなかにいれしてもらいました。

はが赤くなったので、びっくりしました。あかいのがいっぱいついているところにばいきんがいっぱいのこっているのです。

赤いのがおちるように、おしえてもらったブラッシングのしかたで、はみがきしました。きれいになったので、うれしかったです。

二年生になったら、赤くなるところをすくなくしたいです。はみがきをがんばります。

(琉球新報 1月15日掲載)



空手の世界大会

4年 宮城 湊

昨日、お父さんといっしょに空手の世界大会を見るために県立武道館に行きました。

初めて世界大会を見ることができると、とても楽しみにしていました。

武道館に着くと、すでに試合が始まっていた。さすが世界大会だとおもうほど、技のスピードが速く、この人のまねをしたいと思う人が何人もいました。

沖縄生まれの喜友名諒選手が決勝まで勝ち進んでいました。決勝戦でも5対0の判定で圧倒的な勝利をおさめると、会場に大きな歓声がおきて盛り上がりしました。

沖縄の喜友名諒選手が世界一になったことは、とてもうれしかったです。

僕には、もう一つうれしいことがありました。それは、イギリスのチャンピオンのダミアン選手からサインをもらえたことです。チャンピオンのサイン大切にしたいです。

(琉球新報 1月26日掲載)



首里城で歴史を学ぶ

6年 大保 響輝

私が、首里城を見学して学んだことは、まず、琉球の歴史についてです。琉球王国は、中国と貿易を行っていたので、他の国からも信頼され、韓国、東南アジアとも貿易し、多くの富を得ていた独立国だったのです。でも、薩摩藩の侵略を受け、日本の一部になってしまったのです。

その栄えていたときに築城された首里城は、唐破風妻飾や正殿龍柱など、琉球オリジナルの作りがみられます。中国、日本、琉球の混ざり合ったチャンプルー文化が、そのオリジナルをつくったのでしょうか。シーサーもスフィンクスがモデルだと聞いて、びっくりしました。

私は、世界遺産でもある首里城を見学したのは、初めてでした。でも、見学するうちに、不思議に思うことが沢山見つけました。次は、そのことを解決しに来たいと思います。

(琉球新報 1月27日掲載)

